

ベスト電器、安川電機、岩田屋、

博多大丸など主要28社で社長交代

特集
Feature Article

総力取材 2010 注目の

地場企業役員人事

県内主要企業58社新任・昇任役員約230人掲載

2010(平成22)年の県内主要企業の役員人事が出そろった。本誌取材の地場主要企業58社のうち、今年も、ベスト電器、安川電機、岩田屋、博多大丸などほぼ半数の28社でトップ交代。さらに取締役や執行役員昇格、新任も相次いだ。トップの若返りと意思決定のスピードアップは、経営基盤の強化に欠かせない要素。景気に持ち直しの動きが見られる中、経営陣の手腕が注目される。地場企業28社の新社長をはじめ、新任役員の名簿に迫った。

景気上向き、注目される新社長の手腕

昨年は本誌取材45社のうち、14社で社長交代があった。地場有力企業でつくる「七社会」では、今年もトップ交代の動きは見られなかった。今回、トップ交代があった県内の主な企業のうち、家電量販店大手の(株)ベスト電器(福岡市博多区千代6丁目)の新社長に3月20日付で、子会社・さくらや社長を兼務していた小野浩司取締役が昇格。2012年2月期までの店舗・営業戦略の再構築を目的とした事業再生計画をスタートさせた。北九州市に本社を置く(株)安川電機(同市八幡西区黒崎城石)の新社長には、東京工業大

トリテイリングの原田隆晴執行役員が就任。全国屈指の激戦区、天神地区で陣頭指揮をとる。そのほか、社長交代があったのは主な企業は次の通り。マックスバリュ九州(福岡市博多区博多駅前3丁目)、ヤマエ久野(福岡市博多区博多駅前2丁目)、黒崎播磨(北九州市八幡西区東浜町)、(株)三井ハイテック(北九州市八幡西区小嶺2丁目)、(株)ムーンスター(久留米市白山町)、西部電機(古賀市東3丁目)、丸東産業(小郡市千湯)、ロイヤルホールディングス(福岡市博多区那珂3丁目)、九州通信ネットワーク(福岡市中央区天神1丁目)、(株)富士通九州システムズ(福岡市早良区百道浜2丁目)、増田石油(福岡市中央区大手門3丁目)、(株)九州リースサービス(福岡市博多区博多駅前4丁目)、(株)ワールドインテック(北九州市小倉北区馬借1丁目)、九州朝日放送(福岡市中央区長浜1丁目)など。

注目の役員人事・目次

| | | | | | |
|--------------|----|----------|-----|--------------|-----|
| ベスト電器 | 80 | 丸信 | 94 | TVQ九州放送 | 114 |
| 安川電機 | 80 | 三松 | 95 | 電通九州 | 115 |
| 岩田屋 | 82 | エフエム福岡 | 95 | 九州三井アルミニウム工業 | 115 |
| 博多大丸 | 83 | 博多座 | 96 | サニックス | 116 |
| マックスバリュ九州 | 84 | 日立システム九州 | 96 | ニシム電子工業 | 117 |
| ヤマエ久野 | 84 | アイフリーク | 96 | BCC | 118 |
| 黒崎播磨 | 85 | 麻生 | 97 | 富士ピー・エス | 118 |
| 三井ハイテック | 86 | 千鳥饅頭総本舗 | 97 | 九州電力 | 119 |
| ムーンスター | 87 | 西日本シティ銀行 | 98 | ふくおかFG | 121 |
| 西部電機 | 87 | 九電工 | 100 | TOTO | 122 |
| 丸東産業 | 88 | 第一交通産業 | 102 | NECソフトウェア九州 | 123 |
| ロイヤルホールディングス | 88 | ダイショー | 104 | はせがわ | 124 |
| 九州通信ネットワーク | 89 | オーケー食品工業 | 105 | 西部電気工業 | 125 |
| 富士通九州システムズ | 90 | 西部ガス | 105 | 高田工業所 | 125 |
| 増田石油 | 91 | 西日本鉄道 | 108 | 毎日メディアサービス | 126 |
| 九州リースサービス | 91 | 九州旅客鉄道 | 109 | リックス | 126 |
| ワールドインテック | 92 | 福岡中央銀行 | 112 | 新出光 | 127 |
| 九州朝日放送 | 92 | ヤマウ | 112 | 南陽 | 127 |
| JIMOS | 93 | 西日本新聞社 | 113 | | |
| 玉屋 | 94 | RKB毎日放送 | 114 | | |

(本誌取材分)

新任トップに「決意」を聞く①

| | |
|--------------------|-----|
| 博多大丸 原田隆晴 社長 | 128 |
| 富士通九州システムズ 川田敏郎 社長 | 130 |
| 増田石油 増田成泰 社長 | 132 |
| 博多座 芦塚日出美 社長 | 134 |
| 三松 田名部徹朗 社長 | 135 |

大手有力企業新支社長・支店長インタビュー①

| | |
|-------------------------|-----|
| 三井物産 瀬戸山貴則 常務執行役員九州支社長 | 136 |
| 損保ジャパン 福澤秀浩 常務執行役員九州本部長 | 139 |
| 全日本空輸 小辻智之 執行役員福岡支店長 | 140 |

※本文中役員一覧の役職はカッコ内が前職、それ以外は現在の担当業務、委嘱業務です。また、今回の新任・昇任の役員は太字ゴシック体で掲載しています。なお、掲載者の年齢は8月1日現在です。

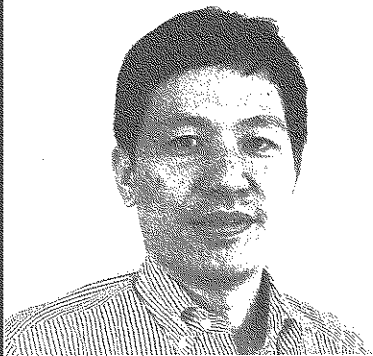
社長に田名部徹朗常務

三松

安岡社長は取締役会長に

薄物板金加工、機械装置組立 (株)に入社。89年外資系金融機の製造代行、(株)三松(筑紫野市 岡田3丁目)の新社長に、7月1日付けで田名部徹朗常務が昇格した。

創業40周年を機にトップの若返りを図ったもので、安岡貞勝社長は取締役会長に就任した。田名部社長は1964年3月8日生まれ、46歳。筑紫野市出身で、早稲田大学政治経済学部経済学科卒。87年三菱重工業



田名部徹朗
社長

2000年9月に常務に昇格した。同社長は4代目社長になり、2代目社長の田名部貢氏の長男。また、安岡会長は母方の叔父に当たる。趣味は旅行とゴルフと読書。

役員は次の通り。

▼社長(常務) 田名部徹朗▼
取締役会長(代表取締役社長) 安岡貞勝▼非常勤取締役 田名部秀世、田名部淳、野口静

40周年の節目に創業の思いを継承

三松 田名部徹朗 社長

―トップ交代の理由は。

田名部 今期が創業から40期に当たり、会長の安岡が60歳の還暦を迎えます。ちょうど良い節目ということで、今回の人事になりました。

―経営トップになると、今までと気持ちの上で違いますか。

田名部 会長と二人三脚で進めていく体制に変わりはありませんが、それぞれの役回りが変わります。私は営業面などの対外面が中心で、会長は主に工場管理や後継者の育成を担当します。代表権を持つことで、発言には今まで以上に責任の重みを感じていますし、最終的な決定を下すことになりましたから身の引き締まる思いです。

―ご自身が4代目ですが、2代目の田名部貢社長との関係は。

田名部 私が長男になります。会長は母方の叔父です。

―初代は2年間で、実質的には2代目が創業社長ですね。

田名部 それ以前はパネルの販売会社で、父の代にメーカーとして踏み出しました。

―ご自身は何歳の時ですか。

田名部 小学6年生で、その年の暮れに初めての製品が出荷された事を良く覚えていますが、また、当時は工場を間借りして、自宅が事務所代わりでした。設計担当者が自宅で図面を引いたり、一緒に食事をしたりして、そうした創業時のことを覚えていました。子どもながらに、そうした創業時のことを覚えていま

す。―三菱重工に入社しましたが、残念ながら縁がなく、三菱に入りました。

―シテイバンクに転進したのも、そういう理由からですね。気が変わったのはなぜですか。

田名部 銀行時代はプライベートバンクという富裕層の資産運用業務を担当していました。当時は店頭公開ブームで、オーナー経営者の方と親しくさせてもらいました。創業時の話を聞いたり、「将来はどうするのか」と聞かれることも多く、自分でも将来について迷い始めていました。ちょうどその頃、中小零細のまちの金物屋さんでホームセンターに切り替わって、合併などができ上がっていました。その過程をわが社に重ね合わせ、将来的に同じような展開ができるのではと可能性を感じ、意識するようになりました。

また、帰省時には実家で社員と会う機会も多く、「いつ戻るのか」とよく聞かれました。まさか「継ぐ気はない」とは言えずに言葉を濁していましたが、そ

う言って受け入れてくれる人がいることはありがたいことでした。ただ、単純に戻って継ぐというだけでは通用しないし、父を含め周りも許してくれなかつたでしょう。自分なりに真剣に考えて思いを話し、14年前に頭を下げて戻ってきました。

―目標を聞かせてください。

田名部 まずは、百km圏内でナンバーワンになることです。その上で、全国のそうしたナンバーワン企業とネットワークを組みたいと思っています。教育機関や管理部門は共同化して、現業の工場部門は国内に限らず各地域で生産するような仕組みです。企業の生き残りというよりも、この業界自体を次世代に継承していきたいと思っています。大げさに言えば、ものづくりを残したいという思いです。

もう1つの使命は、次世代を担う人材を育てることです。会社を伸ばすことよりも、次世代にどう継承していくかが重要で、それが結果的には発展につながると思います。5代目社長はぜひ社員から出したいし、そういう思いを持てるような魅力ある企業づくりを目指します。



田名部徹朗 (たなべ・てつろう) 社長

1964年3月8日生まれの46歳。筑紫野市出身で、筑紫丘高―早稲田大学政治経済学部経済学科卒。87年三菱重工業(株)に入社。89年外資系金融機関のシテイバンク、エヌ・エイ東京支店に入行。96年12月(株)三松に経営企画室長で入社し、2000年9月に常務に昇格。妻美代目社長の田名部貢氏の長男。趣味は旅行とゴルフと読書

特集